

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	神戸医療福祉大学
設置者名	学校法人都築学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
社会福祉学部 (令和2年4月1日から人間社会学部に名称変更予定)	社会福祉学科	夜・通信			17	17	13	
	健康スポーツコミュニケーション学科	夜・通信			14	14	13	
	経営福祉ビジネス学科	夜・通信			14	14	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表とシラバスは大学ホームページ (http://www.kinwu.ac.jp/images/material/51/files/johokokai2019-5-5.pdf)、 (http://www.kinwu.ac.jp/syllabus/index.html?pid=26970) で公表する。
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人8は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	神戸医療福祉大学
設置者名	学校法人都築学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPに掲載 「情報の公開」⇒「法人役員」
<http://www.kinwu.ac.jp/images/material/51/files/H30yakuin.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	本法人以外の大学の 元学長	H31. 1. 5～ R 3. 1. 4	組織運営体制への チェック機能

(備考) 現在学外者である理事は1名であるため、令和2年4月1日までに、複数の学外者である理事の選任を確実に実施する。

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神戸医療福祉大学（社会福祉学部） ※令和2年4月学部名称変更予定
設置者名	学校法人都築学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>(1) カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに基づき、各学科、各養成課程から出された次年度の教育課程の編成案を教務委員会で検討する。</p> <p>(2) シラバスへの記載内容について、FD委員会で検討し12月までにシラバス作成要領を策定する。</p> <p>(3) 次年度のカリキュラム編成及び科目担当教員を教務委員会で検討し、担当教員にシラバス作成を12月末までに依頼する。</p> <p>(4) 担当教員はシラバス作成要領に基づき1月中にシラバス原稿を作成する。</p> <p>(5) 作成されたシラバス原稿が適切であるかを、2月中に各学科、養成課程、教務部で点検を行い、必要に応じて修正を行なう。</p> <p>(6) シラバス原稿の最終校正を2月末までに行い、新年度のオリエンテーション開始までにHPにアップさせるとともに、製本を行い配布する。</p> <p>(7) 担当教員は初回授業でシラバスの内容を説明し、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項について学生への周知徹底を図る。</p>	
授業計画書の公表方法	授業計画書(シラバス)は、冊子媒体で配布するとともに、大学ホームページ(http://www.kinwu.ac.jp/syllabus/index.html?pid=26970)で公表し、一般に閲覧できるようにしている。
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>(1) 授業科目の学修成果の評価方法</p> <p>授業科目の特性に応じ、評価の方法は、筆記試験、実技試験、レポートの提出等による。担当教員は、授業計画書(シラバス)に記載した「評価基準・評価方法」に基づき学修成果の評価認定を客観的かつ厳密に行っている。学生の学修意欲、理解度を把握するため、担当教員は1回の筆記試験のみならず、小試験やレポートを実施したうえで定期試験を実施し評価認定を行なっている。定期試験は原則持ち込み禁止で実施している。また各授業科目について、出席時間数が授業実施時間数の3分の2(但し、実習について5分の4)に満たない場合は履修の認定は行っていない(履修規程第9条第5項)。担当教員は、試験終了後、成績報告書に評価点とともに履修規程第12条に基づく評価区分を記入し教務部に提出する。</p>	

(2) 成績評価の学生・保護者への通知

教務部は、履修科目の認定評価、単位取得状況、通算GPA、学期ごとのGPAを記載した学生の成績原簿を作成し、成績通知書を、前期については教務部から保護者へ郵送、後期については、2月にクラス担任、卒業研究演習担当教員から配布を行い、学生の指導にあたっている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

(1) 成績評価の客観的な指標の設定

授業科目の評価（評点）については、秀（100～90）、優（89～80）、良（79～70）、可（69～60）不可（59以下）をもって表し、可以上を合格とする（履修規程第12条）。履修した授業科目の成績を平均化し、総合的な成績評価指標として本学ではGPAを用いている。

GPAは以下の算式に基づき算出される（履修規程第13条）

$$GPA = \frac{\text{履修登録した科目のグレードポイント} \times \text{その科目の単位数}}{\text{履修登録した全科目の総単位数}}$$

科目の成績評価に対するグレードポイントは以下のとおりである。

評価	秀	優	良	可	不可	無効
グレードポイント	5.0	4.0	3.0	2.0	0.0	0.0

なお認定科目、自由科目は計算対象外となる

GPAの基準、算出方法等は、大学『学生便覧』に記載し、学期のオリエンテーション時に周知徹底を図っている。

(2) 通算のGPA、学期ごとのGPAは、通知書にも記載され、学生、保護者に通知される。GPAの低い学生に対しては、学期ごとの成績配布時等にクラス担任、卒業研究演習担当教員が面談指導を行い学生の学修意欲の向上に努めている。GPAによって各学年の各科目のGPA及び全科目の学生の成績分布状況を把握することがきる。

(3) 添付書類

客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料（平成30年度）

客観的な指標の算出方法の公表方法

大学の『学生便覧』に記載するとともに、履修規程は大学ホームページ（http://www.kinwu.ac.jp/images/material/51/files/johokokai2019_6_2.pdf）で公表している。

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>(1) 卒業認定に関する方針</p> <p>本学では、建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を基本理念とした4年間の教育課程を修了し、所定の単位数を取得したものに学位を授与する。各学科の卒業認定・学位授与の方針は以下のとおり。</p> <p>(I) 社会福祉学科</p> <p>①建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を理解し、ソーシャルワーカーとしての価値、知識、技術を学び、実践していくための科学的・専門的な力を身につけている。</p> <p>②クライアントが直面している生活問題を発見し、クライアント自身が主体的に解決することをサポートできる。</p> <p>③課題の解決に向けて専門職ならびに他者との連携・協働ができ、地域の社会的資源を活用した支援マネジメントができる。</p> <p>(II) 健康スポーツコミュニケーション学科</p> <p>①建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を理解し、自分の能力を伸ばし、生かす力を身につけている。</p> <p>②4年にわたる教養および学科専門科目の学修を通じて様々な課題を発見し、それを科学的に分析解析する能力を身につけている。</p> <p>③さまざまな人とのコミュニケーションに必要な能力や専門的な指導力を身につけている。</p> <p>(III) 経営福祉ビジネス学科</p> <p>①建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を理解し、自分の能力を伸ばし、生かす力を身につけている。</p> <p>②福祉マインドと経営感覚を兼ね備え、学修した知識や技術を駆使して、国内外の人・組織・社会が抱える課題を解決に導く能力を身につけている。</p> <p>③様々なビジネスシーンにおいて、現状に満足することなく常に改善を目指して、組織を先導しビジネスを構築する能力を身につけている。</p> <p>(2) 卒業要件</p> <p>卒業の認定要件として、学科に4年以上在学し、教養科目32単位以上、専門科目92単位以上、総計124単位以上を修得しなければならない(学則第42条、第43条)。</p> <p>(3) 卒業の認定の実施手順</p> <p>学生の卒業判定については、教務部が作成する「卒業判定資料」に基づき教務委員会で案を策定し、卒業要件を満たした学生については、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。学長は、卒業を認定したものに対して学位を授与する。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学則は『学生便覧』に記載し学生に配布するとともに、ディプロマポリシーは大学ホームページ http://www.kinwu.ac.jp/images/material/51/files/%E3%83%87%E3%82%A3%E3%83%97%E3%83%AD%E3%83%9E%E3%83%9D%E3%83%AA%E3%82%B7%E3%83%BC.pdf で公表している。</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	神戸医療福祉大学
設置者名	学校法人都築学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.kinwu.ac.jp/images/material/51/files/H30zaimu.pdf
収支計算書又は損益計算書	http://www.kinwu.ac.jp/images/material/51/files/H30zaimu.pdf
財産目録	http://www.kinwu.ac.jp/images/material/51/files/H30zaimu.pdf
事業報告書	http://www.kinwu.ac.jp/images/material/51/files/H30jigyohouokoku.pdf
監事による監査報告(書)	http://www.kinwu.ac.jp/images/material/51/files/H30zaimu.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学ホームページ (http://www.kinwu.ac.jp/images/material/51/files/H29_jikotenkenhyoka.pdf) で 公表している。
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 大学ホームページ (http://www.kinwu.ac.jp/images/material/51/files/H29_hyoka.pdf) で公表している。
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 社会福祉学部
教育研究上の目的 公表方法：大学『学生便覧』に記載するとともに大学ホームページ (http://www.kinwu.ac.jp/images/material/51/files/johokokai_1_2_mokuteki.pdf) で公表している。
(概要) (1) 建学の精神と教育理念 本学は、「個性の伸展による人生練磨」を建学の精神として掲げ、「青年は、次世代創造の源泉である。その個性を伸展し、人間と社会と地球に福祉的未來を実現する」ことを教育の理念としている。 (2) 本学の教育研究上の目的 本学の目的は、「日本国憲法、教育基本法及び学校教育法に従い、広く知識を授けるとともに、建学の精神である『個性の伸展による人生練磨』に則り、人と環境に優しい福祉の心をもった人材を国際色豊かに育むこと」(学則第 1 条)にある。さらに「相手のこころを理解し、受け入れ、ともに生きていこうとする『こころの福祉』」の実現に向け「福祉のプロとしての知識と技術に加え、豊かな人間性を養い、これからの社会福祉を力強くリードしていく力をもった人材を養成すること」が社会福祉学部の教育研究上の目的であるとし、指導方針として「福祉の学問と技術を修める、暖かい人柄を育てる、健やかな体をきたえる」ことを掲げている。
卒業の認定に関する方針 公表方法：大学『学生便覧』に記載するとともに大学ホームページ (http://www.kinwu.ac.jp/images/material/51/files/%E3%83%87%E3%82%A3%E3%83%97%E3%83%AD%E3%83%9E%E3%83%9D%E3%83%AA%E3%82%B7%E3%83%BC.pdf) で公表している。
(概要) (1) 卒業認定に関する方針 本学では、建学の精神「個性の伸展による人生練磨」を基本理念とし、4 年間の教育課程を修了し所定の単位数を取得したものに学位を授与する。各学科の卒業認定・学位授与の方針は以下のとおり。 (Ⅰ) 社会福祉学科 ①建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を理解し、ソーシャルワーカーとしての価値、知識、技術を学び、実践していくための科学的・専門的な力を身につけている。 ②クライアントが直面している生活問題を発見し、クライアント自身が主体的に解決することをサポートできる。 ③課題の解決に向けて専門職ならびに他者との連携・協働ができ、地域の社会的資源を活用した支援マネジメントができる。 (Ⅱ) 健康スポーツコミュニケーション学科 ①建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を理解し、自分の能力を伸ばし、生かす力を身につけている。 ②4 年にわたる教養および学科専門科目の学修を通じて様々な課題を発見し、それを科学的に分析解析する能力を身につけている。

③さまざまな人とのコミュニケーションに必要な能力や専門的な指導力を身につけている。

(Ⅲ) 経営福祉ビジネス学科

①建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を理解し、自分の能力を伸ばし、生かす力を身につけている。

②福祉マインドと経営感覚を兼ね備え、学修した知識や技術を駆使して、国内外の人・組織・社会が抱える課題を解決に導く能力を身につけている。

③様々なビジネスシーンにおいて、現状に満足することなく常に改善を目指して、組織を先導しビジネスを構築する能力を身につけている。

(2) 卒業要件

卒業の認定要件として、学科に4年以上在学し、教養科目32単位以上、専門科目92単位以上、総計124単位以上を修得しなければならない(学則第42条、第43条)。

(3) 卒業の認定の実施手順

学生の卒業判定については、教務部が作成する「卒業判定会議資料」に基づき教務委員会で案を策定し、卒業要件を満たした学生については、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認めている。学長は、卒業を認定したものに対して学位を授与する。

教育課程の編成及び実施に関する方針

公表方法：大学『学生便覧』に記載するとともに大学ホームページ (<http://www.kinwu.ac.jp/images/material/51/files/%E3%82%AB%E3%83%AA%E3%82%AD%E3%83%A5%E3%83%A9%E3%83%A0%E3%83%9D%E3%83%AA%E3%82%B7%E3%83%BC.pdf>) で公表している。

(概要)

学科ごとに以下のカリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)を定め、カリキュラムポリシーに則り、教育課程の編成及び実施を行なっている。

(Ⅰ) 社会福祉学科

建学の精神および学科の目的に沿って設定した科目を履修し、高齢者、障がい者、児童、貧困者等を対象に、身体・医療的側面、心理・社会的側面、経済・制度的側面の視点や枠組みをもって、個人の生活理解と問題やニーズの発見を行い、福祉・保健医療サービス、地域の社会資源を活用した支援マネジメントができる社会福祉専門職を育成するため、次の方針のもとカリキュラムを編成し実践する。

①教養科目を通じて人間と社会を理解し、将来の福祉専門職として必要な資質と能力を身につける。

②相談援助に必要な制度と実践方法を学ぶとともに、それを実践するためのコミュニケーションスキルとマインドを身につける。

③個人と地域の生活問題を発見し、社会的に解決するために不可欠なアセスメント能力やマネジメント能力などを身につける。

(Ⅱ) 健康スポーツコミュニケーション学科

健康・福祉・スポーツ分野における必要な知識と実践方法を修得し、専門領域のスキルを高め、教育分野の指導者のみならず、生活の質の維持・向上のために幅広い年齢層を対象とした適切な健康・運動の指導ができる人材を育成することを目的とし、次の方針のもとカリキュラムを編成し実践する。

①教養科目を通じて社会人として国内および国際社会で活躍できる教養を身につける。

②社会学部として基礎から専門的なことまでを体系的に学び、さまざまな人とのコミュニケーション力を見につける。

③健康・スポーツ分野において幅広い知識と実践方法を習得し、専門性の高い指導力と指導方法を身につける。

(Ⅲ) 経営福祉ビジネス学科

人に寄り添い、組織をリードし、社会に貢献することを自らの目標に定め、福祉と経営に必要なマインド、スキル、知識を身につけることで、人、組織、社会の抱える様々な課題に気づき、その原因を分析し、解決策を提案・実行できる人材を養成することを目的とし、次の方針のもとカリキュラムを編成し実践する。

- ①教養科目および学科専門科目を通じて、グローバル化に対応する異文化理解力、発信力、傾聴力を身につける。
- ②問題解決型学習等により、職場や地域社会で実践できる論理力・戦略的な思考力、想像力、表現力を身につける。
- ③社会福祉について体系的に学び、相談援助の専門職にふさわしい人間性、知識、技術を見につける。

入学者の受入れに関する方針

公表方法：大学『学生便覧』に記載するとともに大学ホームページ (<http://www.kinwu.ac.jp/images/material/51/files/%E3%82%A2%E3%83%89%E3%83%9F%E3%83%83%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3%E3%83%9D%E3%83%AA%E3%82%B7%E3%83%BC.pdf>) で公表している。

(概要)

本学が求める入学者は、本学の建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を理解し、社会福祉に関心をもち、自分の能力を活かし、主体的に学ぶ意欲と自己の成長を目指す人物である。学科ごとにアドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）を定め、アドミッションポリシーに則り、入学者の受け入れを行なっている。

(Ⅰ) 社会福祉学科

本学の建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を理解し、社会福祉に寄せる関心が強く、これからの医療、福祉時代を担っていこうとする情熱をもち、積極的に学び、自己の成長を目指して将来それぞれの分野で地域社会に貢献しようとする人、人とのつながりやコミュニケーションを大切にしながら他者と協働して学修に取り組むことが出来る人を求める。

(Ⅱ) 健康スポーツコミュニケーション学科

本学の建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を理解し、健康・福祉・スポーツ分野に高い関心をもち、学習意欲のある人を求める。

(Ⅲ) 経営福祉ビジネス学科

本学の建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を理解し、福祉と経営の両方を学ぶことから広がる可能性に、魅力とやり甲斐を感じる人を求める。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学ホームページ (http://www.kinwu.ac.jp/gakubu_gakka/index.html) で公表している。

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
—	人	—					人
—	—	29人	9人	13人	1人	人	52人
—	—	人	人	人	人	人	人
b.教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
2人		52人					54人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://www.kinwu.ac.jp/annai/gyoseki.html					
c.FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
平成30年度（学外FD研修へ教員派遣）							
①学外研修への派遣 「SPOD フォーラム 2018：教職員のミニマムエッセンシャルズを考える」 平成30年8月29日（水）～31日（金） 香川大学幸町北キャンパス							
②学内伝達講習会の実施（1） 「障がいをもつ学生への支援」（講師：小田栄子教授） 平成30年9月26日（水）午前 神戸医療福祉大学姫路キャンパス							
③学内伝達講習会の実施（2） 「学生も教員も心が元気になる授業デザイン」（講師：野本玲子准教授） 平成30年9月26日（水）午後 神戸医療福祉大学姫路キャンパス							
④「第24回FDフォーラム：大学におけるダイバーシティ」 平成31年3月2日（土） 立命館大学衣笠キャンパス							
令和元年度（予定を含む）							
①学内SD・FD研修会 令和元年7月6日（土） 神戸医療福祉大学姫路キャンパス 令和元年7月13日（土） 神戸医療福祉大学大阪キャンパス							
②「SPOD フォーラム 2019：大学教育の組織力」 令和元年8月28日（水）～30日（金） 愛媛大学城北キャンパス 3名の教職員が参加し、後日伝達講習会を開催する予定。							
③学内FD研修会「教育の質保証」 令和元年11月20日（水）予定 神戸医療福祉大学姫路キャンパス							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
社会福祉 学部	400人	294人	73.5%	1,600人	1,017人	63.6%	人	5人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	400人	294人	73.5%	1,600人	1,017人	63.6%	人	5人
(備考)								

b.卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
社会福祉 学部	249人 (100%)	6人 (2.4 %)	196人 (78.7 %)	47人 (18.9 %)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	249人 (100%)	6人 (2.4 %)	196人 (78.7 %)	47人 (18.9 %)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

- (1) カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーに基づき、各学科、各養成課程から出された次年度の教育課程の編成案を教務委員会で検討する。
- (2) シラバスへの記載内容について、FD 委員会で検討し 12 月までにシラバス作成要領を策定する。
- (3) 次年度のカリキュラム編成及び科目担当教員を教務委員会で検討し、担当教員にシラバス作成を 12 月末までに依頼する。
- (4) 担当教員はシラバス作成要領に基づき 1 月中にシラバス原稿を作成する。
- (5) 作成されたシラバス原稿が適切であるかを、2 月中に各学科、養成課程、教務部で点検を行い、必要に応じて修正を行なう。
- (6) シラバス原稿の最終校正を 2 月末までに行い、新年度のオリエンテーション開始までに HP にアップさせるとともに、製本を行い配布する。
- (7) 担当教員は初回授業でシラバスの内容を説明し、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項について学生への周知徹底を図る。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<学修成果の評価に係る評価の概要>

(1) 授業科目の学修成果の評価方法

授業科目の特性に応じ、評価の方法は、筆記試験、実技試験、レポートの提出等による。担当教員は、授業計画書(シラバス)に記載した「評価基準・評価方法」に基づき学修成果の評価認定を客観的かつ厳密に行っている。学生の学修意欲、理解度を把握するため、担当教員は 1 回の筆記試験のみならず、小試験やレポートを実施したうえで定期試験を実施し評価認定を行なっている。定期試験は原則持ち込み禁止で実施している。また各授業科目について、出席時間数が授業実施時間数の 3 分の 2 (但し、実習について 5 分の 4) に満たない場合は履修の認定は行なっていない(履修規程第 9 条第 5 項)。担当教員は、試験修了後、成績報告書に評価点とともに履修規程第 12 条に基づく評価区分を記入し教務部に提出する。

(2) 成績評価の学生・保護者への通知

教務部は、履修科目の認定評価、単位取得状況、通算 GPA、学期ごとの GPA を記載した学生の成績原簿を作成し、成績通知書を、前期については教務部から保護者へ郵送、後期については、2 月にクラス担任、卒業研究演習担当教員から配布を行い、学生の指導にあたっている。

<卒業又は修了の認定に当たっての基準の概要>

(1) 卒業認定に関する方針

本学では、建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を基本理念とした 4 年間の教育課程を修了し、所定の単位数を取得したものに学位を授与する。各学科の卒業認定・学位授与の方針は以下のとおり。

(I) 社会福祉学科

- ①建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を理解し、ソーシャルワーカーとしての価値、知識、技術を学び、実践していくための科学的・専門的な力を身につけている。
- ②クライアントが直面している生活問題を発見し、クライアント自身が主体的に解決することをサポートできる。

③課題の解決に向けて専門職ならびに他者との連携・協働ができ、地域の社会的資源を活用した支援マネジメントができる。

(II) 健康スポーツコミュニケーション学科

①建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を理解し、自分の能力を伸ばし、生かす力を身につけている。

②4年にわたる教養および学科専門科目の学修を通じて様々な課題を発見し、それを科学的に分析解析する能力を身につけている。

③さまざまな人とのコミュニケーションに必要な能力や専門的な指導力を身につけている。

(III) 経営福祉ビジネス学科

①建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を理解し、自分の能力を伸ばし、生かす力を身につけている。

②福祉マインドと経営感覚を兼ね備え、学修した知識や技術を駆使して、国内外の人・組織・社会が抱える課題を解決に導く能力を身につけている。

③様々なビジネスシーンにおいて、現状に満足することなく常に改善を目指して、組織を先導しビジネスを構築する能力を身につけている。

(2) 卒業要件
卒業の認定要件として、学科に4年以上在学し、教養科目32単位以上、専門科目92単位以上、総計124単位以上を修得しなければならない(学則第42条、第43条)。

(3) 卒業の認定の実施手順
学生の卒業判定については、教務部が作成する「卒業判定資料」に基づき教務委員会で案を策定し、卒業要件を満たした学生については、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。学長は、卒業を認定したものに対して学位を授与する。

学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
社会福祉学部 (令和2年4月1日から人間社会学部に名称変更予定)	社会福祉学科	124 単位	有・無	48 単位
	健康スポーツコミュニケーション学科	124 単位	有・無	48 単位
	経営福祉ビジネス学科	124 単位	有・無	48 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)	公表方法：『学生便覧』に記載。 健康スポーツコミュニケーション学科の教職課程の履修においては年度毎のGPAは3.0以上必要である(「教育職員免許状取得に関する規程」第6条)。			
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：			

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： http://www.kinwu.ac.jp/equipment/index.html

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
社会福祉 学部		600,000 円	100,000 円	200,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a.学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>本学では各学期のガイダンス時において、履修の方法、授業の受け方、試験の受け方、資格の取得の方法等を学生に説明している。履修登録時には、クラス担任、卒業研究演習担当教員が指導にあっている。また毎月配布される授業出席状況や各部署からの学生情報をもとに、クラス担任、卒業研究演習担当教員は随時学生の就学指導、支援にあっている。また各種国家資格取得や教員免許、語学の資格取得に関しては、課外授業を実施している。</p>
<p>b.進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>1年次、2年次においては、キャリア演習Ⅰ・Ⅱの中で、卒業生の講話や企業の話聞く機会を設け支援をしている。3年次、4年次では、就職ガイダンス、就職セミナーにおいて、自己分析、業界研究をはじめ履歴書の書き方や面接対策を行なっている。また、学内就職フェアも開催している。</p>
<p>c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生相談室を設置。相談員は外部心理カウンセラーほか学内の心理学系教員を配置している。</p> <p>1・2年生はクラス担任制、3年次よりは指導教員制を実施。個別面談など学生指導に当たっている。</p> <p>健康管理については健康相談、定期健康診断などを実施している。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：専任教員の教育研究等の状況や実績については大学ホームページ (http://www.kinwu.ac.jp/annai/gyoseki.html) で公表している。また本学の研究紀要『神戸医療福祉大学紀要』への掲載論文は大学ホームページ (https://kinwu.repo.nii.ac.jp/?page_id=34) で公表している。</p>
